



堺市立町家歴史館

鉄炮鍛冶屋敷

Sakai City Traditional Townhouse Museum
Old Gunsmith Workshop and Residence

第2回鉄炮鍛冶屋敷企画展

OLD GUNSMITH WORKSHOP AND RESIDENCE
2ND THEMATIC EXHIBITION

生誕200周年記念

井上 関右衛門 壽次

— 歴史を遺した最後の堺鉄炮鍛冶 —

FOR THE 200TH ANNIVERSARY OF THE BIRTH OF

INOUE SEKIEMON HISATSUGU:
THE LAST "SAKAI GUNSMITH"



令和6年(2024) 令和7年(2025)

11.20 水 ~ 2.11 火祝

開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月3日)

入館料 一般500円(20名以上の団体料金400円)

※町家歴史館山口家住宅・清学院との共通入館券あり

※中学生以下、堺市の区域内に住所を有する65歳以上の方、
障害のある方とその介護者は無料(要証明書)

主催 堺市



最新情報は堺市HPをご覧ください▲

ひさつぐ
井上関右衛門壽次の足跡をたどる

井上家第11代当主関右衛門壽次(文政7年(1824)~明治41年(1908))は、幕末、明治の激動の時代を生き抜いた最後の堺鉄炮鍛冶です。壽次は、父の急死を受けて数え年2歳で家業を継ぐと、母や後見人らの支えを受けながら鉄炮鍛冶としての実力をつけ、堺鉄炮鍛冶のなかで最も多くの大名・旗本と取引をするまでに成長しました。

明治時代には、鉄炮の製造を続けながら、火薬販売や醤油製造などに家業を多角化し、井上関右衛門家の存続を図りました。鉄炮鍛冶屋敷には、2万点以上の古文書をはじめとした資料が伝えられていますが、これは偶然ではなく壽次が意図的に整理して遺したものと考えられます。

令和6年(2024)、壽次の生誕から200年を迎えました。このことを記念し、本企画展では壽次愛用の鉄炮図柄の目貫が付けられた刀などを初公開します。その他、壽次が遺したさまざまな資料を通して、井上関右衛門家や堺鉄炮鍛冶の歴史をたどり、後世に歴史を伝えようとした彼の想いに迫ります。

主な展示資料



火縄銃

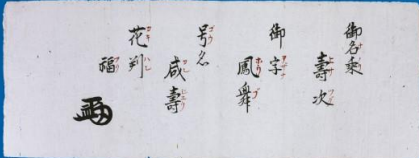
銘 二重惣巻張摂州住
井上関右衛門作壽次
(花押)



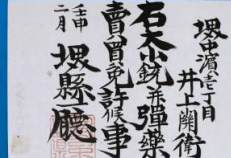
初公開
鉄炮図柄目貫の刀



エンフィールド銃



初公開 「壽次」命名書



火薬商免許書



初公開
竹製花器

関連イベント

専門家と井上家当主による対談

・「ひさつぐさんを語る」 ※先着順・事前申し込み

- 開催日** 12月14日(土) 午前10時30分~午後2時~【1時間程度】
- 定員** 各20人 **参加費** 無料(別途要入館料)
- 申込期間** 11月4日(月) 午前10時~ ※電話・FAX(072-224-1155)にて受付
- 登壇者** 藪田 貴氏 (関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館館長)
井上 俊二氏 (井上家当主・鉄炮鍛冶屋敷史談会会長)

・担当学芸員によるミニ講座 ※先着順・事前申し込み

- 開催日** 令和7年1月18日(土) 午前11時~午後1時~【1時間程度】
- 定員** 各20人 **参加費** 無料(別途要入館料)
- 申込期間** 11月4日(月) 午前10時~ ※電話・FAX(072-224-1155)にて受付

・担当学芸員による展示解説 (当日午前10時から受付で整理券配布)

- 開催日** 12月1日(日) 午前11時~午後1時~【30分程度】
- 定員** 各10人 **参加費** 無料(別途要入館料)

会場へのアクセス



企画展について / 堺市文化財課
堺市堺区南瓦町3番1号 TEL:072-228-7198 FAX:072-228-7228
施設・イベント予約について /
株式会社パソナジヨイナス 町家歴史館指定管理者
堺市堺区錦之町東1丁2-31 (町家歴史館山口市家住宅内)
電話・FAX: 072-224-1155

